

まぼろしへのかけはし



すずらん

基本理念 希望のある医療

3 階西病棟 看護課長 友成恭子

排泄自立ケアチームのご紹介

排尿障害でお困りの入院患者さまに、専門的な医療サポートを行う「排尿自立ケアチーム」を平成 29 年 1 月より発足しました。

患者さまの尿道カテーテルを 1 日でも早く抜去し、尿路感染を防ぎ、自力での排尿管理ができる方向へ導くよう支援致します。

尿道カテーテルとは、病気で排尿をコントロールできない時や、手術で絶対安静の時、自力でトイレに行けない時などに尿道から膀胱に入れる管のことです。その管は月に 1 回、医師や看護師により交換が必要で、長期の挿入により感染のリスクも高まります。

排尿の自立は、患者さまの人としての尊厳を守り、ADL の維持・増進・早期退院・臥床患者さまの減少、つまりは QOL (生活の質) 向上につながると考えます。

【排尿自立ケアチームメンバー】

泌尿器科医師・皮膚排泄ケア認定看護師・薬剤師・理学療法士・病棟リンクナースです。

【活動内容】週に 1 回、各病棟をラウンドしています。

入院中の尿道カテーテル挿入中の方もしくは、カテーテル抜去後の方に、膀胱の残尿量をチェックし、排泄がうまくできているかの確認などを行い、担当医師や病棟看護師と協力してリハビリテーション、薬物療法などを組み合わせ、排尿自立に向け支援しています。

【活動実績】

薬剤師が、薬による排尿障害への影響や飲み方について調整を行い症状緩和に努めた事例が 3 例、理学療法士と看護師が連携し、患者さまの体力の回復具合にあわせて排泄に伴う移動の訓練などを実施した事例が 8 例あります。

「排尿自立ケアチーム」の活動は始まったばかりですが、患者さまの排泄機能を正しく評価し、最大限 QOL が向上できるよう支援に努めて参りたいと思います。

～回診・講義光景～



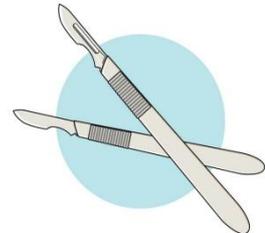
お知らせ

1. 5月のホッとひと息寄り道講座

テーマ： 振り込め詐欺について
講師： 高砂警察 生活安全課 警察官
日時： 5月8日（月）、24日（水）10:00～10:30
場所： 正面玄関ホールの公衆電話前

2. オープンカンファレンス開催のお知らせ

日時： 5月25日（木）17:30～19:50
場所： 2階講義室
テーマ： **【周術期管理】**
対象者： 医療職・介護職の方



※地域医療連携室まで申し込みをお願い致します（当日まで可）

3. 感染制御室からのお知らせ

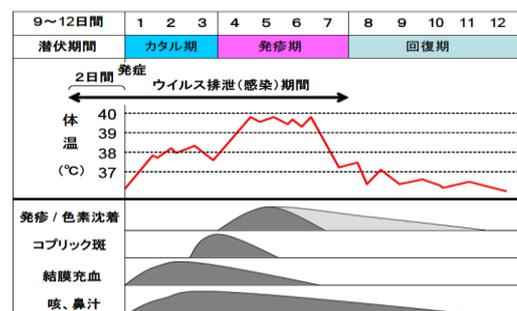
日本の麻疹は、2015年 WHO から「麻疹排除国」の認定を受け、麻疹の継続的伝播がない状態になりました。しかし昨年関西空港を中心とした集団発生が大きく話題になり、最近では山形・関西空港・金沢等の感染例が報告されています。これは、海外渡航者や外国人旅行者からの持ち込みがきっかけとなっています。

麻疹は、高熱、全身の発疹、カタル症状を特徴とし、空気感染する非常に感染力が強いウイルス感染症です。最初のカタル期の感染力が最も強く、潜伏期が10～12日と比較的長いため、人の移動により感染が拡大する恐れがあります。麻疹の免疫がない集団に1人の発症者がいたとすると、12～14人の人が感染するとされ、インフルエンザの6～7倍です。

- 発熱・発疹を呈する患者の診察時の問診は、渡航歴や発熱・発疹者との接触歴、予防接種歴などの確認を慎重に行うことが重要です。
- 海外渡航を予定する人は、渡航先の流行状況を把握し、渡航先によってはワクチン接種が必要になる場合があります。

当院では、小児の予防接種に対して、薬剤師が個々の状況に合わせた接種スケジュールを組ませて頂いています。また、海外渡航や海外留学時のワクチン（一部ワクチンを除く）接種も取り扱っています。

ご相談は、感染制御室 有本（内線2101）
ご予約は、医事課（内線5151） までお願いします。



麻疹の臨床経過



きほうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33-1

TEL 079-442-3981 (内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>